

好奇心で道を切り拓く

～行かないで後悔するよりは、行って後悔した方が良く～

大分県立海洋科学高校の海洋技術科航海コースにはじめて入学した二人の女性。
一人は、ホーバーフェリーの甲板手になりました。

自分にあつた学校

臼杵の中学校に在学中、商業高校に進もうと思つていましたので、体験入学に行きま

した。机に座つてワープロなどをさせて貰つていられるうちに思つたのは、「じつとしているのは、自分には合わないなあ」

女子初の入学

進路に悩んでいる中、三者面談の時に担任の先生から「海洋科学高校の技術科、今年から女子も受験できるぞ」とのお話

【三級海技士 辻間恵美子さん】



技術科は、航海実習のあつた科で、興味を持ちました。しかし、航海実習の大

変さを知る水産高校出身の父親は、受験したいと話した時、とても嫌そうな顔をしていましたね。

この年、私ともう一人が女子ではじめて海洋技術科に合格しました。

女子用トイレとシャワー

海洋技術科の航海コースは、学内でも唯一航海実習のあるコースです。他の科には多くの女子生徒がいますが、航海コースでは、私たちが初めての女子生徒。実習船に女子用トイレとお風呂を作ってもらいました。

二ヶ月半の航海実習

航海実習はマグロはえなわ漁をするのですが、漁場に行くまで2週間かかります。船

に乗ってみたいという好奇心で入学したものの、最初のうちは、辛い船酔いに苦しめられました。食欲はなく、みんなビニール袋片手になかなか立ち上がれない毎日。辛い、もう一人の女子が全く船酔いしない人だったので、洗濯などをして貰っていました。

漁場に着く頃は船にも慣れてきて、実習に参加できるようになっていきました。さば、あじ、このしろなどの魚を丸ごと針につけたり、それを引き上げたり。漁は、約一ヶ月ほど続きます。

漁を終えると数日ハワイで過ごした後、神奈川の三崎港に魚をおろして、ようやく臼杵へ帰れます。

専攻科へ進学

卒業の時に、専攻科に行くのは高校入学時同様前例がないために、就職があるかどうか分からないと言われました。私は、就職よりも資格を取得することにこだわりました。

「行かないで後悔するよりは、行って後悔した方が良く」と思つたからです。

乗船履歴が重要な世界、再び二ヶ月半の航海実習がありました。高校生の時よりもハードな実習に2年間のブランク。さすがに「なんでこんなところにいるんだろう」と後悔したこともありましたが、「笑」

二人きりの女子。一人は別の海員学校へ進学しました。私は、専攻科か海員学校か、いずれにしても馴れ合う生活をしないように、彼女とは別の学校へ進もうという気持ちもありました。

助言者に恵まれて

船に乗らなかつたので、今の職場を選びました。甲板手の仕事は、お客様の誘導をした後、船長の横に座り、リーダーを見ながらナビゲーターのような役割をします。また、操縦は任されています。

自分は運が良かったと思えます。常に、助言をしてくださる方が周りにいましたから。特になにかしてやろうという感じではなく、好奇心で普通に行ってきたら、船に乗ってました。